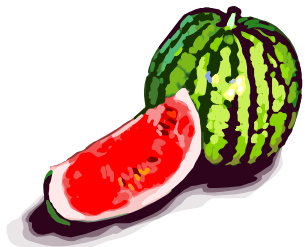


平成24年度 富里市地域公共交通会議(第3回)

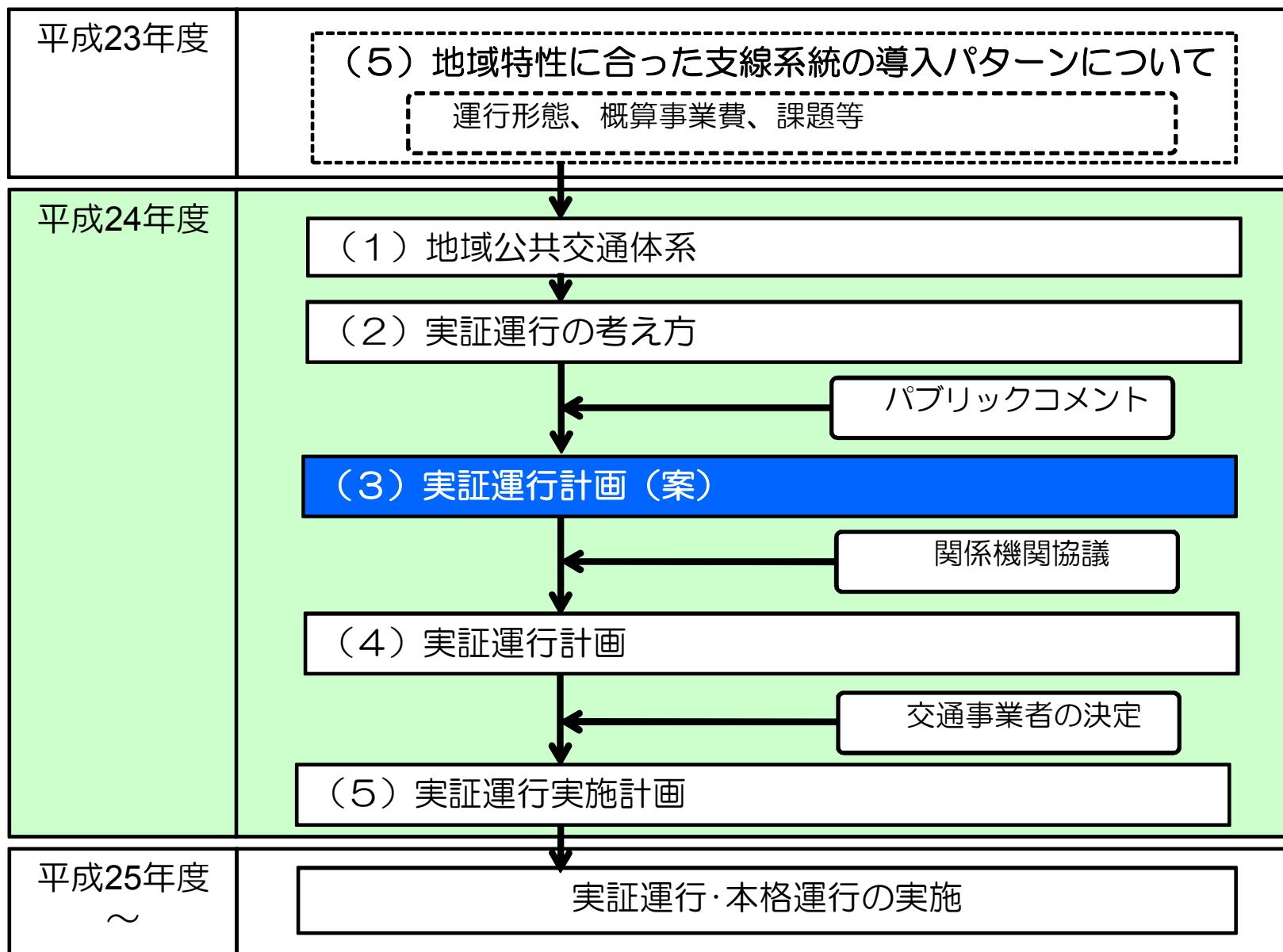


実証運行計画の策定に向けて

- 1) 富里市支線交通実証運行計画(素案)のパブリックコメント結果について
- 2) 富里市支線交通実証運行計画(案)について
- 3) 今後のスケジュールについて



平成24年度の進め方





1) 富里市支線交通実証運行計画 (素案) のパブリックコメント結果 について



パブリックコメントの実施状況

項目	内容
題名	富里市支線交通実証運行計画（素案）について
期間	平成24年9月1日～9月24日
方法	広報、ホームページで周知し、市役所企画課窓口、日吉台出張所、ホームページで閲覧
意見提出者	5名
意見件数	7項目



意見内容

- (1) 停留所までの距離を感じる
- (2) 八街駅，富里バスターミナルまでルートが拡大することに安心感を得る
- (3) 利用者が少なく廃止とならないようにして欲しい
- (4) 根本名ルートについて成田駅に接続してほしい
- (5) 帰りの予約に不便を感じる
- (6) 利用者が乗車可能人数を超えた場合の対応はどうするのか
- (7) 中部ふれあいセンターから富里バスターミナルまでは交通渋滞が懸念される



意見に対する市の考え方(1/3)

意見	市の考え方
①停留所までの距離について 意見(1)	本計画では、市の公共交通の考え方の原点である路線バスを補完するという目的でアンケート調査等から得た地域特性と経費面・効率性を考慮し、基本的に既存のさとバスの停留所を活かしたルート設定及び停留所の設置としております。 停留所の位置等につきましては、実証運行での動向を踏まえ利用ニーズに応じて停留所位置の変更などを検討してまいりたいと考えております。
②ルート拡大と利用者数の低下について 意見(2)(3)	本計画では、サービス強化を図る上で、アンケート調査から得た要望の上位である行きたい時間に行きたい場所に運行することに主眼を置き、ルートの拡大と増便を計画しました。 これらの要素を踏まえ、市民が広く利用いただけるようホームページや広報などにより周知に努め、利用者数の向上を目指してまいります。



意見に対する市の考え方(2/3)

意見	市の考え方
③成田駅への接続について	市で行う公共交通については、民間交通事業者による路線バスの補完という考え方が原則となりますので、ルートや運行時刻の設定等については路線バスと競合する事のないよう十分留意する必要があります。 本計画を策定するにあたっては、これらを踏まえ市内を運行する路線バス事業者等と十分に協議を重ね、その結果を計画に反映させたものです。 成田駅へのアクセスにつきましては、路線バスとの乗継ポイントとして路線バスが多く行き交うバス停に近接した中部ふれあいセンターに新たに乗降ポイントを設置し、可能な限り路線バスの運行時刻に応じたダイヤ設定とするなど、乗継しやすさの向上を図ってまいります。
意見(4)	



意見に対する市の考え方(3/3)

意見	市の考え方
④デマンド交通の帰りの予約、乗り溢れ、交通渋滞について	デマンド交通の予約方法につきましては、利用者の負担がより軽減されるよう、一度の予約で行き帰りの予約ができる方法や、行きの運転手に予約できる方法など検討してまいります。 利用者が車両乗車定員を超えた場合の対応につきましては、予約制とすることで運行事業者は事前に乗車人数を把握することが可能ですので、車両乗車定員を超えた場合は2台目で対応するなど乗り溢れが生じない対応を図ります。 交通渋滞につきましては、本計画のデマンド交通は基本的なルートを設定しておりますが、最後の乗客が乗車後の目的地までの運行は、交通量に応じて別ルートによる運行が可能となっておりますので、市域内で発生する慢性的な交通渋滞等はある程度回避できるものと考えております。
意見(5)(6)(7)	



2) 富里市支線交通実証運行計画（案） について



富里市支線交通実証運行計画(案) (1/2)

	新橋循環	根木名ルート	十倉ルート	高松ルート
運行形態	循環バス (さとバス)	デマンド交通		
運行方法	所定のダイヤで運行し、バス停で利用者を乗降させる	事前登録者に、所定の乗降ポイント、ダイヤを提示し、予約があった場合のみ運行し、乗降ポイントで利用者を乗降させる。 <u>最後の利用者が乗車後は、道路事情により別途効率的なルートがあれば基本ルートを必ずしも運行しなくて良い</u>		
車両	現行のさとバス車両	セダンタイプ（乗車定員3名まで） 乗車定員を超えた場合は別の車両を用意し対応する		
ルート・バス停 (乗降ポイント)	既存バス停に加え、富里バスターミナル、JR酒々井駅等を追加	基本ルートは、往復同じルートを設定、他の公共交通（鉄道、高速バス、路線バス）への乗継や、主要な店舗への連絡を確保 路線バスとの乗継ポイント（中部ふれあいセンター）と富里バスターミナル間は、路線バスの運行に配慮し乗降不可		



富里市支線交通実証運行計画(案) (2/2)

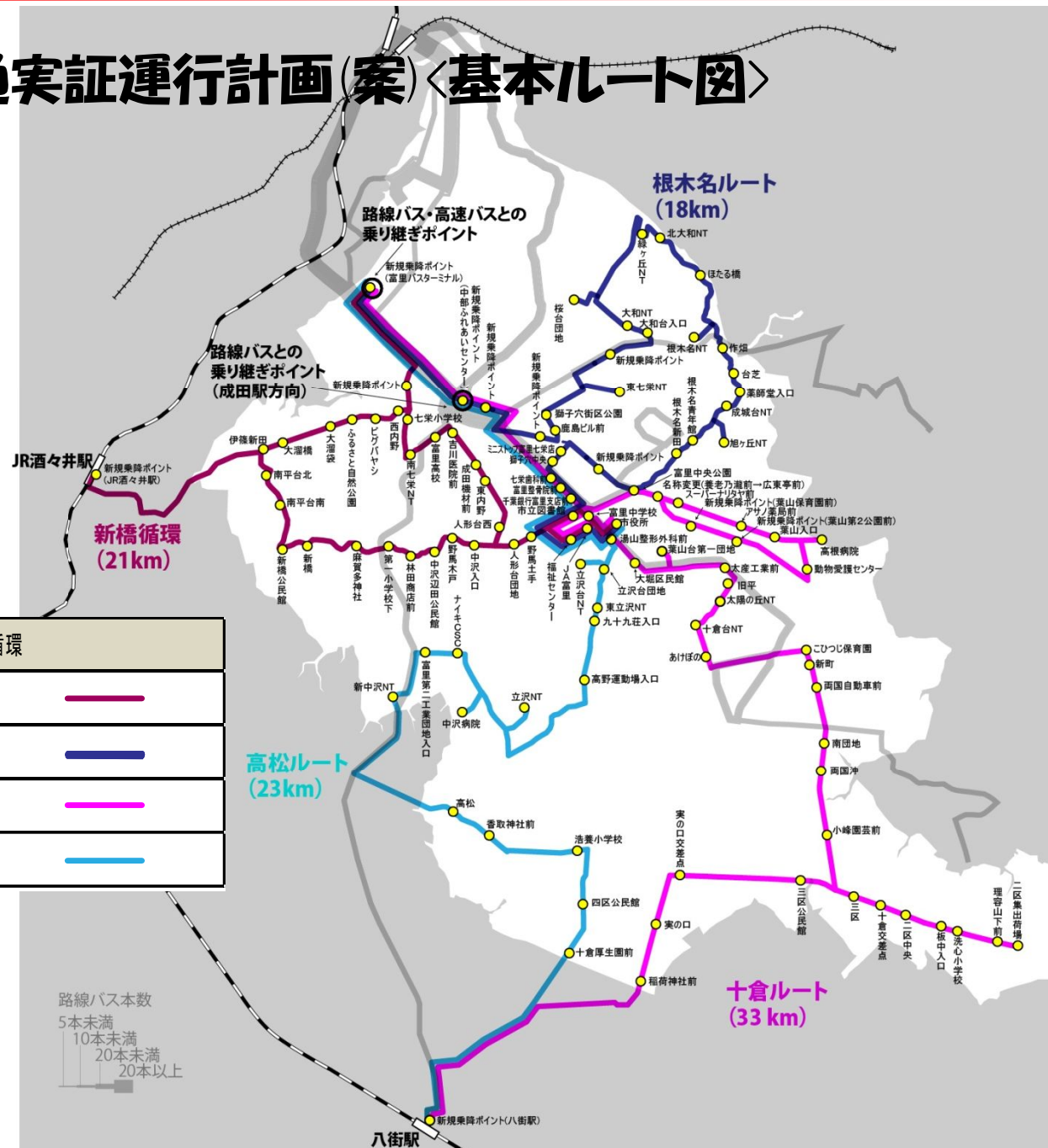
	新橋循環	根木名ルート	十倉ルート	高松ルート
運行日	土日祝日を除く月～金曜日（年末年始を除く）			
運行本数	10本	8本		
運行時間	午前7時～午後6時の間で設定	午前8時～午後6時の間で設定		
運賃	分類	市内	市外（鉄道駅）	
	大人	300円	400円	
	小学生	100円	200円	
	後期高齢者医療被保険者証をお持ちの方	150円	200円	
	身体障害者手帳、療育手帳をお持ちの方、小学生未満	無料		
	回数券などのチケットを発行予定			



富里市支線交通実証運行計画(案)〈基本ルート図〉

	ルート・循環	
循環バス(さとバス)	新橋循環	
デマンド交通	根木名ルート	
	十倉ルート	
	高松ルート	

路線バス本数
 5本未満
 10本未満
 20本未満
 20本以上

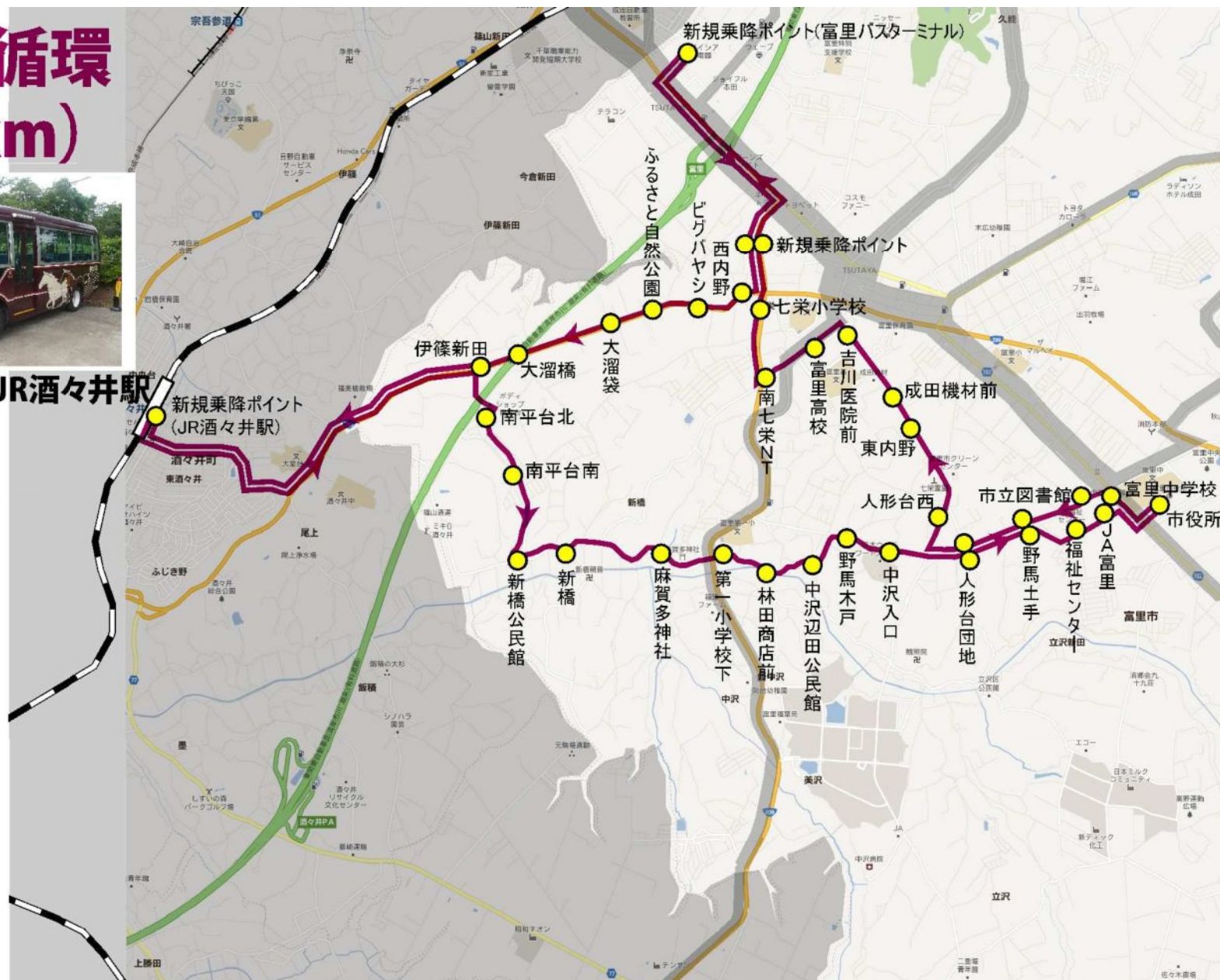




新橋循環 (21km)

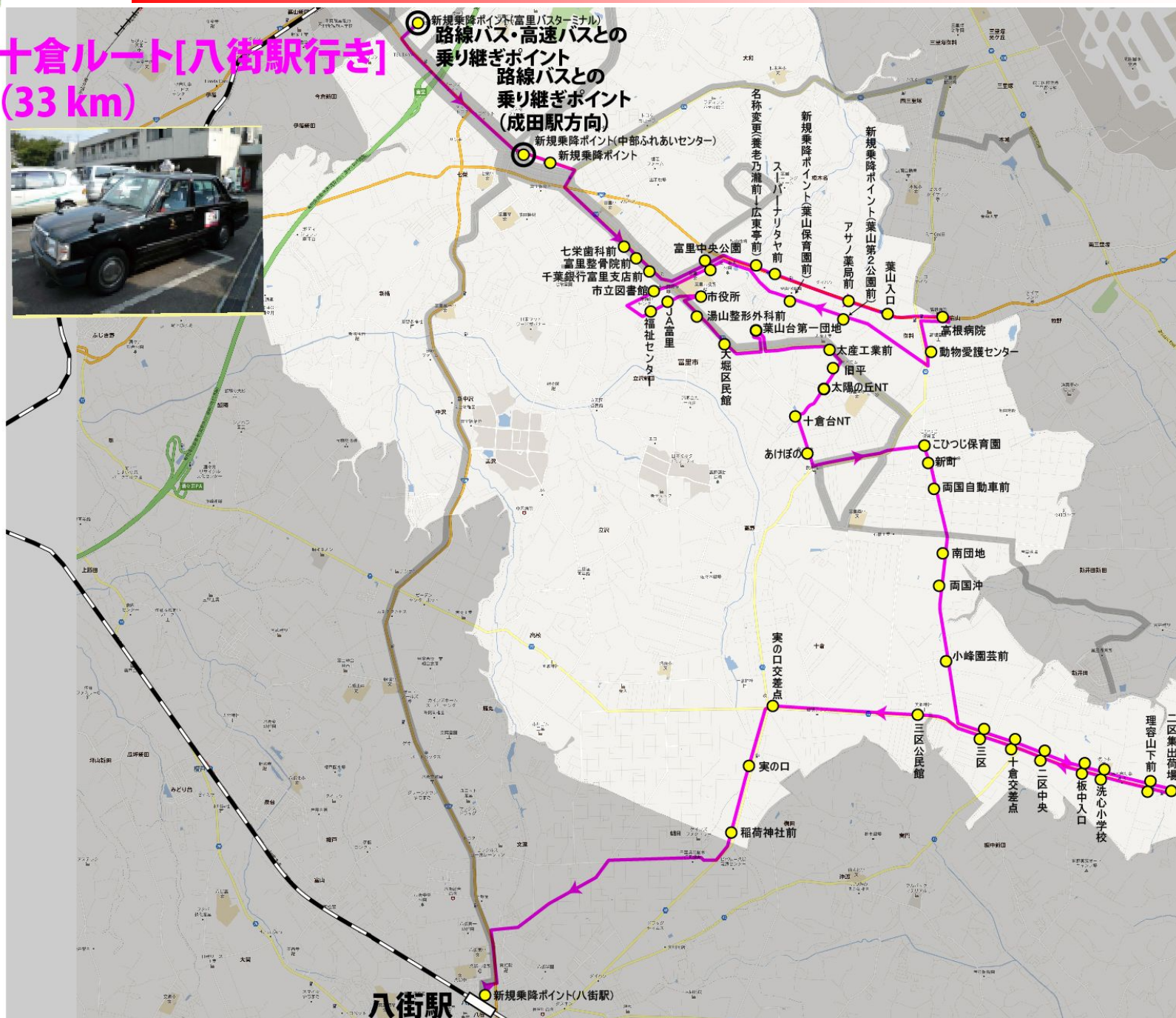


JR酒々井駅





十倉ルート[八街駅行き] (33 km)





3) 今後のスケジュールについて



実証運行までのスケジュール

項目		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
実証運行計画	バス停、乗降ポイントの設置位置決定 (関係機関協議)							
運行事業者選定	企画提案書の提出・締切							
	プレゼンテーションの実施				★			
	運行事業者の選定				★			
実証運行実施計画	決定事業者との調整（許認可申請資料）							
第4回地域公共交通会議					★			
許認可申請								
実証運行開始								

実証運行の合意証明

